



日本共産党

北区議会議員

# のの山けん区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.226 2012.8.15

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

消費税増税法案可決 たたかいはこれから

# 国民の審判で増税阻止を



消費税増税反対を訴える池内さおり衆院東京12区青年部長と、のの山けん区議=10日、赤羽駅南口

消費税増税法案は10日、参院本会議で民自公3党などの賛成多数で可決、成立しました。日本共産党の志位和夫委員長は記者会見で密室談合による法案の採決強行に強く抗議しました。

志位委員長は会見で、どんな世論調査でも、国民の過半数は消費税増税に反対（下段参照）だと

し、「法案は強行されましたが、実施は2014年の4月。

大増税に反対する国民の声は、その実施

が迫れば迫るほど高

まるでしょう。たた

かいはこれからで

す」と強調しました。

来るべき選挙

で審判を

さらに「2014

年4月までには、必

ず衆院選、参院選が

たたかわれます。来

るべき国政選挙で、

民自公増税連合にき

びしい審判をください

ことをよびかけま

す」とのべました。

消費増税に頼ら

ない道こそ

国政選挙では、ど

の党がのびれば、消

費増税を阻止する

一番の力になるかが

問われます。

日本共産党は、政

治の姿勢を根本から

変えれば、消費税に

頼らなくても、社会

保障を充実し、財政

危機打開をはかるこ

とは可能であること

を、具体的に明らか

にした「提言」を示

しています。日本共

産党を大きくのぼし

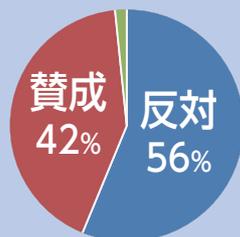
て、消費税増税をく

いとめましよう。

## 国民の過半数が増税「ノー」

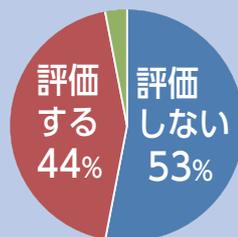
消費税増税法成立後の各種世論調査では、法案成立を「評価しない」、税率の引き上げに「反対」と回答する国民が、依然として過半数にのぼっています。

共同通信(11・12日)



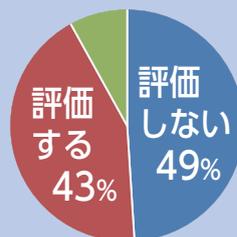
消費税率の引き上げに

「毎日」(11・12日)



消費税増税法の成立を

「読売」(11・12日)



「一体改革」関連法の成立を

# 日韓関係 真の友好には「過去」に向き合う真摯な姿勢こそ不可欠

竹島問題をめぐる李明博大統領の行動などをめぐって日韓関係がぎくしゃくしています。日本と韓国が、真の友好関係を築いてゆくためには、なにが必要でしょうか。



日比谷公会堂で開かれた光復節中央記念式典

私はこの1年、北区日韓親善協会の理事として活動し、7月には親善協会の韓国ツアーにも参加し友好を深めてきただけに、李大統領の竹島訪問を大変残念に思いました。

## 冷静な外交交渉で解決を

日本共産党は、竹島の領有権を日本が

主張することには歴史的根拠があるが、日本への編入がおこなわれた1905年は日本が韓国を植民地化していく過程であり、韓国の外交権は奪われていたことも考慮して、韓国の主張もしつかり検討する必要がありますと考えています。

領土問題は冷静な外交交渉でこそ解決をはかるべきです。

## 「過去」を反省しない日本

同時に、この問題の根底には過去の歴史に真摯に向き合わない日本政府の姿勢があります。

私は今年も15日におこなわれた、韓国民団の光復節中央記



光復節式典で披露された韓国舞踊

念式典に参加しました。韓国にとって光復節は「光を取り戻した日」つまり日本の植民地支配から解放された記念の日です。集会では、苦難を乗り越えてきた民族の誇りとエネルギーを感じました。従軍慰安婦問題をはじめ両国間に横たわる問題も、日本の「過去」に向き合う真摯な姿勢こそが、真の解決に不可欠だと思います。

(のの山けん)

## 政治革新を語る 納涼のつどい

都留文科大学・進藤兵教授がミニ講演

10日夜、北とぴあで北区革新懇主催の「政治革新を語る納涼のつどい」が開かれました。

ヴァイオリンとホルンによるミニコンサートに続き、進藤兵都留文科大学教授が「ポスト石原都政を考えるー都市の未来像と命・憲法・平和の視点ー」と題して講演。第2部の交流会では、政治を変える展望が、明るく語り合われました。

ミニ講演をおこなう進藤兵都留文科大学教授



紹介される日本共産党のそね前都議と区議団

